

2013年5月改訂
(記載要領変更に伴う改訂)

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

つらい下痢に

第②類医薬品

クールストップ下痢止め薬

下痢は、食べすぎ・飲みすぎによる消化不良や寝冷えなどにより、腸の運動が活発になりすぎたり、水分が腸内へ過剰に分泌されることによって起こります。

クールストップ下痢止め薬は、腸の運動をしずめ、腸内の水分の調整をうながすロペラミド塩酸塩、腸の調子を整えるベルペリン塩化物と生薬アカメガシワの配合により、つらい下痢に効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります】

1. 次の人は服用しないでください
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります。)
4. 服用前後は飲酒しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1)医師の治療を受けている人。
(2)発熱を伴う下痢のある人、血便のある人又は粘液便の続く人。
(3)急性の激しい下痢又は腹痛・腹部膨満・吐き気等の症状を伴う下痢のある人。
(本剤で無理に下痢を止めるとかえって病気を悪化させることがあります。)
- (4)便秘を避けなければならない肛門疾患等のある人。
(本剤の服用により便秘が発現することがあります。)
- (5)妊娠又は妊娠していると思われる人。
(6)授乳中の人。
(7)高齢者。
(8)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(9)食あたりあるいは水あたりによる下痢の人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	便秘、腹部膨満感、腹部不快感、吐き気、腹痛、嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイプス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
イレウス様症状 (腸閉塞様症状)	激しい腹痛、ガス排出(おなら)の停止、嘔吐、腹部膨満感を伴う著しい便秘があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
便秘
4. 2日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

裏面もよくお読みください。

クールストップ下痢止め薬

第②類医薬品

【効能・効果】

食べすぎ・飲みすぎによる下痢、寝冷えによる下痢

【用法・用量】

次の量を、水又は白湯にて服用してください。

下痢が止まれば服用しないでください。また、服用間隔は4時間以上あけてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠	2回
15歳未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を厳守してください。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



【成分・分量】

1日量（4錠）中の量

成分	分量
ロペラミド塩酸塩	1 mg
ペルペリン塩化物水和物（無水物として）	80mg
アカメガシワ末	150mg

添加物として、セルロース、デキストリン、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、タルク、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタンを含有します。

【保管及び取扱い上の注意】

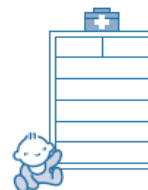
(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2)小児の手のとどかない所に保管してください。

(3)他の容器に入れ替えないでください。

(誤用の原因になったり品質が変わります。)

(4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



〈お問い合わせ先〉

本剤のご使用により、何かお気づきの点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

日本薬剤株式会社「お客様相談窓口」

電話番号 076-424-2239

〔月～金 9:00～17:00（祝日を除く）〕

製造販売元 **日本薬剤株式会社**

富山市東中野町一丁目1番1号

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）